

肝炎ウイルス検診のお知らせ

B型やC型の肝炎ウイルスに感染していても、症状が現れにくいため、知らないうちに慢性肝炎、肝硬変、肝臓がんに進行する場合があります。最近では、医療や薬の進歩によって治療可能な病気となってきましたので、検診で早期発見し、適切な健康管理や治療をすることがとても大切です。

1 検査方法

採血検査です。

※血液中にB型肝炎ウイルスを構成するタンパク質（HBs抗原）やC型肝炎ウイルスに反応してできるタンパク質（HCV抗体）の存在を確認します。

なお、感染後3か月ほどたたないと、検査結果が正しくでない場合もあります。

2 検診場所

同封した「肝炎ウイルス検診実施医療機関名簿」に記載された区内の実施医療機関で検診を受けてください。

3 受診方法

受診票の【問診】【肝炎ウイルス検診申込書】欄をご記入の上、医療機関にお持ちください。

※予約の必要な場合もありますので、受診する医療機関に直接お問い合わせください。

4 費用

無料です。

5 受診票有効期限

有効期限は、受診票に記載してありますのでご確認ください。もし、有効期限内に受診できなかった場合は、「すみだけんしんダイヤル 03-5608-1599 受付時間：月曜日から金曜日までの午前9時から午後6時まで（祝日・年末年始を除く）」へご連絡ください。

※ 検診結果は、区民の健康状況把握の目的で、医療機関から墨田区保健所に提供されます。

注 意 事 項

B型やC型の肝炎ウイルス検査は、一度受ければ毎年繰り返して受ける必要はないと言われています。ただし、この検査でB型肝炎ウイルス（HBs抗原検査）が陰性であった場合やC型肝炎ウイルスに感染している可能性が低いと判定された場合でも、「身体がだるい」「食欲がない」「吐き気がする」などの症状が続く場合や、黄疸（白眼や皮膚が黄色くなること）が出現するような場合の他、健康診断等で肝機能異常が指摘された場合には、他の原因で肝臓が悪くなっていることもあります。必ず医師に相談しましょう。

●感染危険度のチェック●※1つでも当てはまる方は、検診を受けましょう。

- ☐ 最近、疲れやすく、食欲がない。また微熱が続いている。
- ☐ 1988年（昭和63年）以前に生まれている。
- ☐ 過去に、大きな事故やけがで手術を受け、輸血したことがある。
- ☐ 医療機関以外でピアスの穴をあけたり、入れ墨（タトゥー）を入れたことがある。
- ☐ 他人の歯ブラシやカミソリなどを使用して生活したことがある。
- ☐ ご家族に、B型・C型肝炎ウイルスに感染した方、肝硬変や肝臓がんの方がいた。
- ☐ 異性又は同性との性的接触で、コンドームを使用していないことがある。
- ☐ 健康診断などの肝機能検査（AST、ALT など）で異常値を指摘されたことがある。
- ☐ これまでにB型・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない。

各種制度のご案内

- ・東京都ウイルス肝炎治療医療費助成制度
B型・C型肝炎でインターフェロン治療等を要すると診断された方に、医療費を助成する制度です。
- ・東京都肝がん・重度肝硬変医療費助成制度（肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業）
B型・C型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変の入院治療にかかる医療費の一部を助成するとともに、肝がん・重度肝硬変の治療研究を促進するための制度です。
- ・東京都肝炎診療ネットワーク
東京都では、肝臓専門医療機関が治療方針を決定し、かかりつけ医と連携して治療にあたる「東京都肝炎診療ネットワーク」を構築しています。

詳しい内容や申請手続き等につきましては、下記までお問い合わせください。

〔問合せ先〕 保健予防課感染症係 03（5608）6191

※検診の申込先の電話番号は03（5608）1599（すみだけんしんダイヤル）です。

※墨田区保健所（担当課を含む区役所の一部、向島・本所保健センター）のすみだ保健子育て総合センター（墨田区横川5-7-4）への移転に伴い、令和6年11月5日以降のお問い合わせ先は、保健予防課感染症係に統合しました。